栄仁会ドキュメント The 舞台裏

第21回 リハビリ室に「けしかけ取材」！ リアルな裏側をお見せします！

理学療法士(PT) VS 作業療法士(OT)

当院のリハビリ室には、理学療法士(以下PTさん)と作業療法士(以下、OTさん)がいるけれど、両者の違いがよく分からないという声をしばしば耳にする。

このような理解不足を一挙解消させるべく、今回はちょっと禁じ手的な取材を敢行してみたい。

リハビリ室のPTさん1人と、OTさん1人つかまえ、でっちあげのウソで挑発して、各々のホンネを引き出すのだ。さっそく、若い2名のスタッフであるPT後藤さんとOT新さんに「けしかけ取材」してみたい。

理学療法士の後藤さんを挑発

後藤さん、取材よろしくお願いします。

後藤「上司から聞いてます。業務内容の説明を行うんですよね？」

そうなんですけど、先ほどOT新さんを訪ねたところ、逆ギレされまして。リハビリ室は自分たちOTが主役でPTなんてオマケみたいな存在だと言われてしまいました。そういうものなんですか？

後藤「新さん、ケンカ売ってるんですかね」

実際はそうではないと？

後藤「そりゃそうですよ！ 自分らPTも自負を持って仕事に臨んでます」

では、PTさんならではの業務を紹介してください。

理学療法士の後藤さん

平行棒トレーニング

後藤「先輩スタッフのWさんにモデルをお願いして実演しますね。まずは平行棒でのトレーニングです」

これはどういう人に、どういう目的で行うんですか？

後藤「おもに立った姿勢での筋力やバランス能力をアップするために使います。神経の麻痺や骨折、寝たきりによる筋力低下などで歩行障害があると、初めからフリーハンドで歩行練習を行うのは困難です。そのような方に対して平行棒を使うことで、無理なく立ち上がりや歩行練習が行えます。T字杖や松葉杖、歩行器などの前段階として使用することが多いです」

平行棒はどうしてOTさんではなく、PTさんがされるんですか？

後藤「OTは日常生活に必要な応用動作の回復を専門としているのに対して、自分たちPTは立つ、歩く、起き上がるなど、おもに体幹や足を使った基本動作を専門としています。なので、平行棒を用いた練習ではPTの知識の方が活かせると思ってます」

後藤さんに見守られながらの平行棒トレーニング

スポーツジムでも見かけるエアロバイクのようなマシン

ストレッチ動作

これはどういう人に、どういう目的で行うんですか？

後藤「次はストレッチです」

後藤「理学療法ではよく使う手技の一つです。様々な原因で筋肉や靱帯の柔軟性低下、循環障害、疼痛、関節可動域制限などがある方に対し、それらの改善を目的に行います。筋肉が柔軟になり関節がスムーズに動くことで、日常生活での立つ、歩くといった動作の改善にも繋がります。今回は、ハムストリングスと下腿三頭筋という筋肉を伸ばし、関節が硬くなるのを防ぎつつ、足全体の循環を促進させています」

ストレッチはどうしてOTさんではなく、PTさんがされるんですか？

後藤「ストレッチ自体はOT、PT共に実施します。ただ、OTは家事動作などで腕の柔軟性が必要な場合にストレッチを行うことが多いのに対して、基本動作では体幹や足の柔軟性を必要とするため、そこの知識に特化したPTがストレッチを担うことが多いです」

自転車エルゴメーター

後藤「自転車エルゴメーターも導入しています。」

これはどういう人に、どういう目的で行うんですか？

後藤「基本動作に必要な筋力だけでなく、その動作を持続するための持久力向上を目的に行います。機器によっては消費カロリーや運動強度、心拍数などを確認しながら実施できるのでモチベーションの維持にもつながります。また、関節への負担が少なく運動ができることもメリットです」

エルゴメーターはどうしてOTさんではなく、PTさんがされるんですか？

後藤「主に体幹と足を使う運動になるため、体幹と足の解剖・運動学に特化したPTの知識がここでも活かせると思ってます」

なるほど！ ご紹介ありがとうございました。

先輩Wさんに真剣なまなざしでストレッチを施す後藤さん

作業療法士の新さんを挑発

お次はOTの新さんがターゲットだ。新さん、よろしくお願いします。

新「上司から聞いてます。日頃の仕事について話せばいいですか？」

そうなんですけど先ほどPT後藤さんを訪ねたところ、リハビリ室はオレたちPTが仕切っていて、OTなんてザコですよって言われました。

新「えーっ、後藤さんヒドい……」

実際はそうではないと？

新「僕たちOTもがんばってますよ！」

では、OTさんならではの業務を紹介してください。

作業療法士の新さん